

# 10/8(木) 第34回 阪神女性の集い

午前10:15～ いのちに至らせるキリストの香り

於・ルナホール 入場無料 ※手話通訳・託児もあります  
(芦屋市民センター)



歌とお話

久米小百合 (久保田早紀)

東京生まれ。共立女子短期大学文科卒業。東京バプテスト神学校神学科修了。1979～84年、久保田早紀として音楽活動。1985年音楽家・久米大作氏と結婚。久保田早紀としての音楽活動を引退。以後は主にキリスト教会やミッションスクールを中心に、教会音楽家として、音・言葉・絵画を組み合わせた新しいスタイルのチャペルコンサートを行っており、賛美の世界に奥行きと創造性を持たせるものとして高い評価を得ている。2007年から2010年まで日本聖書協会の親善大使を務める。ワールドビジョン・アソシエイトアーティスト。ワーシップ・ジャパン。



ヴァイオリン  
工藤美穂

## Question 05

教会によせられた質問にお答えします。

Q: たいてい教会では日曜日の午前に礼拝があるようですが、なぜ日曜日なのですか?多くの人は日曜日の朝はゆっくり休んでいたいと思うのですが。

A: イスラエルの人々がモーセによって奴隸の地エジプトから脱出した後、神は人々に十戒を与えられました。その中に、「安息日を聖としなさい」という戒めがありました。神が天地を創造された時、神は6日で世界を創り、7日目に休まれたことに基づいています。人々は安息日を大切にし、その日は仕事を休んで神を礼拝しました。それが旧約時代です。イエス・キリストが十字架にかかり3日目に復活されたのが日曜日の朝だったことから、新約時代では日曜日を主の日とし、神を礼拝する日として重んじています。だから日曜日に教会に集まって礼拝するのです。

Q: せっかくの休みの日なのに、日曜日の午前中を取られるのは、スケジュール的に厳しいと思うのですが。

A: 礼拝は決して義務的に行うものではありません。自分を愛してくださっている神を、自分も愛したい、心から礼拝したいと願って、自発的にささげるものです。自分のスケジュールは、礼拝のあとでも十分立てられると思いますよ。

**宝塚栄光教会 牧師:岩間 洋**

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9

TEL:0797-73-6076

E-mail : info@takara-eikou.com

希望のダイヤル 0797-77-3746

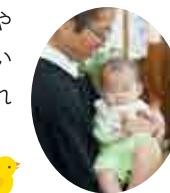
毎週更新。24時間つながります。  
わたしたちは統一教会、ものの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なキリスト教会です。もし困境の方はご相談ください。

ボッドキャスト  
でも配信中!  
ホームページから  
利用できます。



### 教会のひとこま

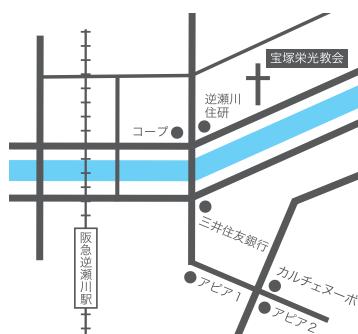
生まれて間もない赤ちゃんとご一家の上に神様の祝福をお祈りする幼子祝福式。牧師さんの腕に抱かれて健やかに育つようにと祈ってもらうのですが、すやすやと眠る子もあれば、大声で泣き出す子もいたり様々です。しかし、この日は会衆の皆さんの和やかな笑顔がいつまでも溢れるとれます。



### ケアプラン オリーブの実

「ケアプラン オリーブの実」  
☎:0797-73-6055  
「デイサービス オリーブの実」  
☎:0797-73-6077

お気軽にお問い合わせ・ご相談ください。



## 持ち運んでくださる神

今年は9月21日が敬老の日。長く人生の旅路をたどってこられたご高齢の方々に、心から敬意を表します。

社会のあらゆる面で高齢化が深刻になっています。片や少子化で子どもの数が減少し、片や平均寿命の延長で高齢化が進み、日本国民の平均年齢がかなり高くなっています。

しかし、私たちが、肝に銘じておかなければならぬことは、高齢者を邪魔者扱いしてはならないということです。高齢化を心配する陰には、お年寄りをやっかい者と見る向きが感じられる場合がよくあるのです。

年を取ることは、聖書では決してマイナスとは見なされていません。むしろ、神の祝福として描かれています。旧約聖書のイザヤ書46章4節にこうあります。「わたしはあなたがたの年老いるまで変らず、白髪となるまで、あなたがたを持ち運ぶ。わたしは造ったゆえ、必ず負い、持ち運び、かつ救う。」

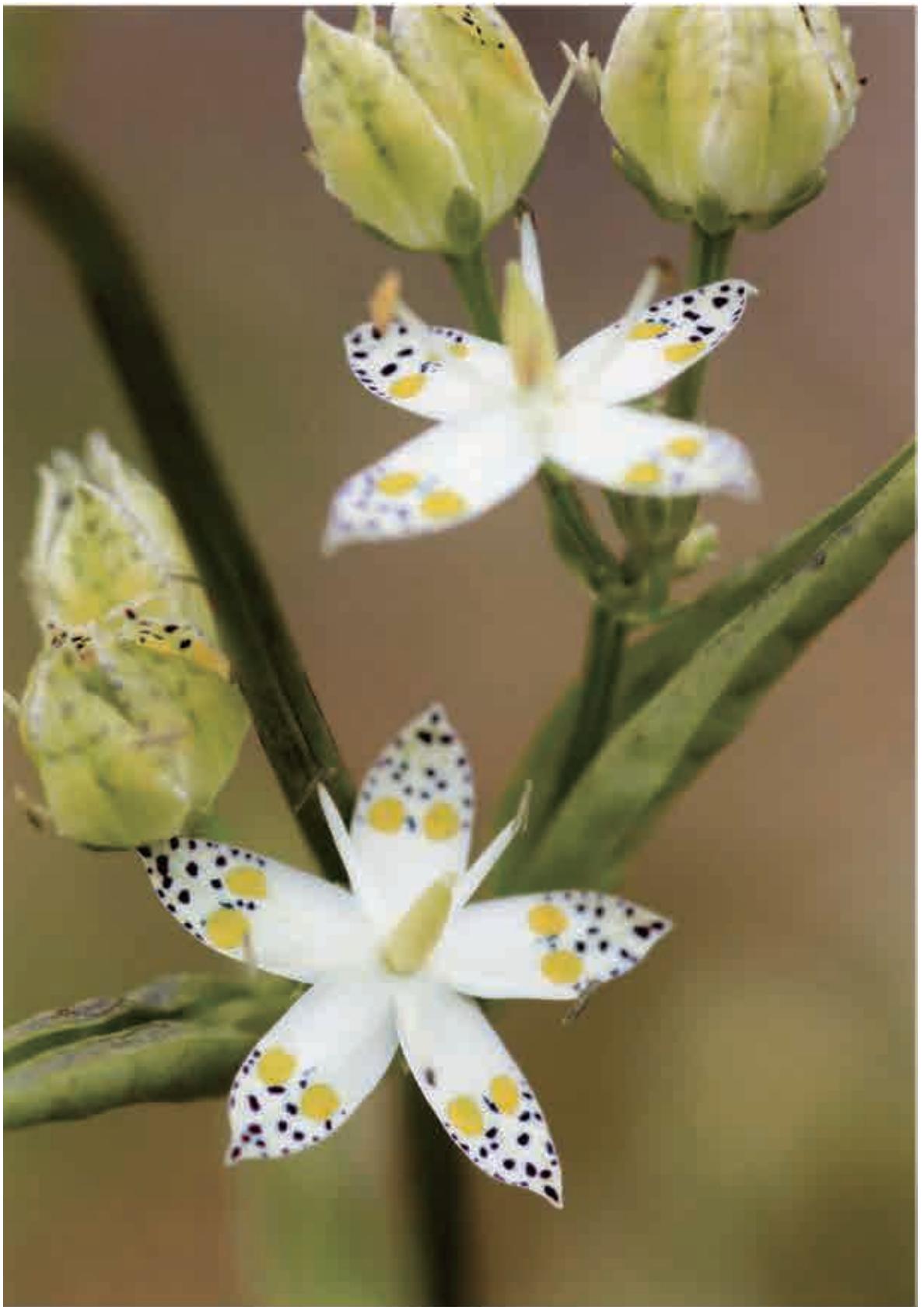
神は、私たちが年を取っても、変わらない

真実な扱いを与えると約束していくのです。

人々はみな年を取っていきます。今はピチピチとした20代の青年であっても、50年もすれば立派な高齢者です。50年は、それほど長い年月ではありません。私はまだ63年しか人生を歩んできていませんが、幼い頃がそれほど昔のように思えないのです。

人生70年、80年は、あっと言う間に過ぎてしまいます。この短い人生を、どのように生きるかが大切なのです。

真実な神を知った人の人生はすばらしいと思います。たとえそれほど財産を蓄えられなくても、また名前を残すことができなくても、「白髪となるまで、あなたがたを持ち運ぶ」と言ってくださる神に委ねることができます。なら、それが何にも勝る宝です。神は、私たちを愛し、ひとり子キリストを十字架におかけになり、それによって私たちに、罪からの救いを教えてくださいました。この真実な神に、最後まで持ち運んでいただきましょう。



## 「前向きに」—アケボノソウ—

真夏の暑さが 少しやわらいだかと思う  
朝夕に ほんのわずかな 一筋の風を 見たときがあった  
一息 つかせてくれ そうしたら 秋に向かって 頑張るから  
アケボノソウの 花言葉は 「前向き」  
夏の終わりから 秋にかけて ふさわしい花ではないか

山里の 湿った場所や 川辺に生えている センブリの仲間  
9~10月 白い 透明感のある 美しい花を 咲かせる  
花の大きさは 径1.5cm~2cm  
意外にも 小さな花に 驚く

その上 2年草なので 毎年は お目にかかる  
花の存在を 忘れされることも あるかも知れない

5つの花弁で 星の形をしている  
花弁の先に 濃紫色の 斑点が ちりばめられている  
また 2つの黄色の丸い点は 蜜腺で アリや昆虫たちが 寄ってくる  
これらの斑点を 夜明けの星空に見立てて 曙草と呼ぶのだ

夜が 白々と 明けていく  
高く目を上げると 小さな星が 点々と目に入る  
まもなく 夜が明け 陽が昇る  
一日の 始まりである

そんなアケボノソウの内に 秘められた  
静かな固い意志を 伝えられたように思う  
前向きの姿勢で 後半の歩み  
残暑に 向かって行こうと 誓う

ちさき星は そらにたり  
ちさきこども 主にいのる

ちさきくちは うたいいつ  
主の御名をば ほむるなり  
讃美歌